

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営かんがい排水事業		路河川名等					
事業毎の通番		1	市町村名	安曇野市	箇所名(ふりがな)	勘左衛門新田(かんだえもんしんでん)			
事業概要	事業目的	本地区は、一級河川梓川の安曇野市高家地籍に建設された長野県勘左衛門堰土地改良区と新田堰土地改良区の合口取水工であり、安定した用水供給を行っているが、近年頻繁に発生する豪雨による洪水時には建設当時は想定されなかった土砂が取水口に堆積し、その土砂の撤去作業等維持管理には大変苦慮している状況にある。取水口に堆積する土砂を下流に安定して流下させ取水の安定を図るため、頭首工を改良し土砂吐工を設置したい。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業		事業実施の根拠法令等	土地改良法				
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、安曇野市農業農村振興計画							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益面積: 455ha							
	着手年度	平成27年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	1.1	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	頭首工改良(土砂吐工設置)1式			150,000	75,000	37,500	34,000	3,500
	年度事業内容(主な工種)	測量設計 1式			18,000	9,000	4,500	4,000	500
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	用水の安定供給の確保と維持管理の軽減						
		間接的効果(定量的・定性的)	耕作放棄地の抑制、防火用水機能の確保						
評価の視点	必要性	○受益戸数: 864戸 ○受益農地面積: 455ha ○地域用水: 防火用水機能					評価	A	
	重要性	○用水不足: 受益面積の100%に影響 ○関連計画、重点施策: 長野県第2期食と農業農村振興計画、安曇野市農業農村振興計画 ○人・農地プラン: 作成済 高家地区など ○日本型直接支払制度: 上鳥羽地区など					評価	A	
	効率性	○費用対効果: B/C=1.09 ○事業期間: 3年 ○工法等検討: 土砂吐にSR起伏ゲート採用					評価	A	
	緊急性	○近年の自然災害: 3回 ○用水の状況: 現状は土砂吐が未設置					評価	A	
	計画熟度	○事業情報の共有: H25.8.24総代会説明 ○地域の取組: 安曇野市から要望あり ○地域の合意形成: 地域合意あり					評価	B	
	部意見	近年発生する集中豪雨の影響により、河川からの取水能力が大幅に低下し、営農に深刻な状況である。必要性、緊急性が高く、早期の整備が必要である。	行政改革課意見	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A	

事業概要説明図表

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

地区概要図

平面図

土砂堆砂

土砂堆砂

断面図

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	取水口の土砂除去は日常の維持管理で行っていたが、平成23年5月10日の豪雨による出水など3度にわたり、建設時には想定されなかった大量の土砂が取水口に堆積し取水不能となった。その土砂の撤去作業等維持管理に大変苦慮している状況にある。このため本事業にて土砂吐工を設置し取水の安定を図りたい。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	自治会から維持用水、防火用水の安定確保に対する要望があがっている。
③事業説明等の経緯	河川管理者の千曲川河川事務所とは事前協議を了し、安曇野市とは合口管理委員会に参加してもらった了承を得ている。H25.8.24総代会に説明し、受益者には広報により計画周知を行っている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	安曇野市実施計画、田園環境整備マスタープランに位置づけされている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事影響範囲を最小限に抑え、工事に伴う河川水の汚濁防止に配慮する。また現在設置されている魚道の付け替
⑥地域活性化への影響と配慮	
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度	北緯: N 36° 15' 50.4
	東経: E 137° 55' 53.9